

平成 15 年 1 月 29 日

各 位

会社名 二チメン株式会社
代表者名 代表取締役社長 半林 亨
(コード番号 8004)
問合せ先 広報担当部長 古谷 良樹
(TEL 03-5446-1062)

平成 15 年 3 月期 通期業績予想 (連結・単体) の修正および配当に関するお知らせ

別途お知らせしておりますとおり、当社は、本年 4 月に日商岩井株式会社 (以下、日商岩井) と経営統合し、共同持株会社「二チメン・日商岩井ホールディングス株式会社」を設立する予定です。この二チメン・日商岩井ホールディングス株式会社の設立を前に、当社は、資産評価基準の厳格化、および事業の再編・統廃合を前倒し処理することにより発生する一時損に対する償却・引当などを行うことといたしました。

これを主因として、昨年 11 月 14 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 15 年 3 月期決算の業績予想、ならびに同期末配当予想を以下のとおり修正いたします。

尚、この結果、経営統合の効果を早期に実現するための「選択と集中」や、事業の再編・統廃合などの経営戦略を柔軟に展開することが可能になるものと考えております。

記

1. 平成 15 年 3 月期の通期業績予想の修正 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績 (単位 : 百万円)

(ご参考)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表予想 (A)	1,900,000	27,000	20,000	7,000
今回修正予想 (B)	1,900,000	22,000	14,000	41,000
増減額 (B - A)	0	5,000	6,000	48,000
増減率	-	18.5%	30.0%	-
(ご参考) 前期 (平成 14 年 3 月期) 実績	2,055,240	33,054	26,788	1,340

(2) 単体業績 (単位 : 百万円)

(ご参考)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表予想 (A)	1,370,000	14,000	10,000	3,500
今回修正予想 (B)	1,400,000	10,000	10,000	37,000
増減額 (B - A)	30,000	4,000	0	40,500
増減率	2.2%	28.6%	-	-
(ご参考) 前期 (平成 14 年 3 月期) 実績	1,501,834	15,976	21,179	1,132

2. 修正の理由

(1) 経常利益の主な要因

厳しい経済環境が続く中、機械分野ではプラント案件の成約時期が予定より遅れたこと、食料分野では穀物の輸入商いの採算が悪化したことなどにより、売上総利益は前回の業績見通しを下回る見込みです。その結果、経常利益も前回の業績見通しを下回る見込みとなりました。

(2) 当期純損益

統合に伴う資産の評価基準の更なる厳格化、事業の再編・統廃合を前倒し処理することによって発生する一時損に対する引当、保有株式の減損処理などにより、当下半期に、連結で約 370 億円、単体で約 320 億円を特別損失として計上いたします。このほか繰延税金資産についても圧縮の方向で見直し、連結・単体共に 100 億円強の繰延税金資産評価損を計上する予定であります。

これらを主因として、当期純損益を上記の表にありますとおり修正いたします。

(ご参考) 当下半期に予定している特別損失の主な内訳 (単位: 億円)

主な内訳	連結	単体
資産評価基準の厳格化に伴う償却損・引当損	75	40
事業再編などの前倒し処理に伴う損失への引当	80	65
合理化コスト	40	40
有価証券評価損	175	175
下期計上見込み特別損失計	370	320

3. 平成 15 年 3 月期の期末配当について

平成 15 年 3 月期の期末配当につきましては、昨年 11 月 14 日の中間決算発表時には未定としておりましたが、上記の業績予想の修正を踏まえ、無配とさせていただきます。

1株当りの配当額

	中間	期末	年間
前回公表(平成 14 年 11 月 14 日)	0 円 00 銭	未定	未定
今回修正予想	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭
(ご参考)前期の 1 株当たり配当額	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

以上